

川崎支部便り 第 63 号 (2023 年 04 月)

オープンで各自が主役：川崎支部

川崎支部支部長 山岸一雄 (執筆：山岸))

人生を豊かに (雑学のすすめ)

【茶屋と築地市場の関係?】

茶屋と言えば、京都の祇園に金沢の東の郭と粋筋の場所です。でも築地市場の河岸のおっさんたちの好物は、一にお金、二に女とお酒が相場だそうです。茶屋の正式名称は「買荷保管所」で、文字通り買い出し人の荷の保管所です。買い出し人は、仕入れた荷物を持ち帰ることもありますが、仲卸店のひとに茶屋へ運んでもらいます。お茶は地区ごとに分かれ、客の荷物をまとめてトラックで届けるのです。トラックの出発時間は決まっています、間に合わなければ自前の配達です。客の荷物に店の名前を記した茶屋札を添えますが、紙片なので風で飛ばされると誰の荷物かわからなくなります。

この茶屋システムは日本橋魚河岸時代に始まり、当時の運搬は大八車ですが、河岸の魚屋は入り組んだ細い路地に連なっているので、乗入が出来ませんでした。そこで河岸周辺に専門の預り所があり、それを茶屋と呼んだのです。今と同じ様に、買った荷は店から茶屋へ運搬していました。荷下ろしの一仕事の後でお茶を一杯振舞われたのでお茶屋と言われた様です。江戸時代から続く配送システムは今でも健在です。(福地享子氏から)

川崎点描：川崎支部活動拠点

【(世田谷区太子堂の空襲) ①】

10万人の犠牲者を出した1945年(昭和20年)3月10日の東京大空襲は、世田谷区でも前後11回の空襲を受け、焼失家屋12,000戸、罹災者46,000人の犠牲者が出ています。特に1945年(昭和20年)5月24・25日の山の手の大空襲では、池尻・太子堂・三軒茶屋は総なめに合い、旭小学校、多聞小学校、世田谷区役所は全焼、東大原小学校、三宿小学校は半焼の被害に遇いました。太子堂4丁目は殆ど燃えました。この歴史を風化させてはならないとの思いで、聞き取りをした記録をお伝えします。

○(Y氏-太子堂2丁目)

国民学校(小学校)の時、下の谷で被災しました。太子堂小学校の子は殆ど疎開しましたが、私の親は子供を手放さず、一緒に暮らしていたのです。5月24日の夜、焼夷弾が落とされ、周りが明るかったのを覚えています。夢中で太子堂小学校に避難しました。陸軍病院の白衣を着た傷病兵も避難していました。下の谷の辺りは強制疎開で建物は壊されました。

学校では雑刀(なぎなた)を習いました。竹の棒です。味噌味の蒸しパンの給食が有りました。配給は出征家族が優先でした。学童疎開後、残っている生徒はほんの少でした。

○(H氏-太子堂2丁目)

学童疎開には行きません。母の実家に疎開しましたが、1週間で戻って来ました。庭に防空壕を掘りました。非難するもの、道具を入れるものなど、いくつか掘りました。最初の空襲の時、ご近状の方が入れて欲しいといらしたのを覚えています。最後には4畳半もある電灯を曳いた立派な防空壕を作りました。

5月24日の空襲のことはよく覚えています。世田谷通りの延長上、敵の大編隊がやってきてザー・シュルシュルとざるから黒いゴマでも撒く様に焼夷弾を落としました。丁度赤ん坊を生んだばかりの方も、うちに疎開していて一緒に三宿神社の方に逃げました。町は真っ赤に燃えていました。翌朝、帰り道で死体も見ました。日本軍の高射砲は敵機に届かなかったのですが、たまに敵機が落ちると、憎き敵をやっつけようと、竹やりをもって駆け付けたそうです。

○(T氏-下の谷) 下の谷-太子堂2丁目、4丁目の茶沢通りの中ほどから入ったところに、下の谷商店街がある。下町情緒の懐かしい雰囲気のお店が並んでいる。第一、第三日曜日の朝9時から10時まで朝市が立ち、賑わう。まちと人々が作り出す原風景とでもいったものが見られる一帯。(せたがや百景公式紹介文の引用)

太子堂小学校の学童疎開の荷物をリヤカーに載せて渋谷の駅まで運んだりしましたが、5月24日は村山航空隊の少年兵でしたので太子堂にはいません。4丁目に住んでいたのですが、帰ってみたら焼け出されていたので、2丁目にやってきました。下の谷通りは片側が強制疎開で取り壊されていました。魚芳は残っていてよく電話を借りに行ったものです。

○(O氏-下の谷) 私は、4月に池袋で焼け出されて、母の住んでいた下の谷に移ってきました。大空襲の時は、昭和女子大の所は兵隊の場所だったから、あそこから焼けてきました。下の谷は低いから、焼夷弾や焼けた材木等飛んできました。もう死ぬかと思ったのです。そしたら、急に風が変わって命拾いました。急に風向きが変わって真っ暗になったです。下の谷の池田谷さんの側は全部焼けました。爆弾が雨あられと降ってきて逃げようたって、逃げられなかったです。

戦争が終わって急に変わったでしょう。それまでは配給で何も売らなかったでしょう。木綿の晒しを一反買ったんです。それでお産したんです。食べ物も大変でした。米なんて1月に1合ずつでした。アメリカさんが缶詰をくれて嬉しかったです。だから私はアメリカを悪く言わないです。

○(K氏-茶沢通り) 私はここで生まれたんです。空襲の時は、兵隊に行ってたんです。ここには母と妹がのこっていました。2人っきりで守ってたのです。太子堂小学校は、長野県に学童疎開したのですが、妹は疎開しないで5月25日は八幡様に逃げたそうです。私は3月10日の空襲の片付けの手伝いをしていましたが、5月25日の空襲にはあっていません。ここに戻ってきたのは10月の末です。戻て来た時は古賀さんとか、炒り豆屋さんとかぼつぽつお店が出来ていました。炒り豆屋さんの向こうが焼けました。府営住宅は残りました。衛戍病院にいく一郭だけが残りました。太子堂小学校は残りました。私は兄が戦死したので、3年ほど修行して、親の跡を継いでこの商売を続けたのです。



(ミニ知識)

「三軒茶屋」とは？ 一説によると1800年前後から使われるようになり、徐々に一般的な呼称として使われるようになっていったそうです。

3軒のお茶屋さんが実在した？

実はその昔、「三軒茶屋」にはその名のとおりに、**信楽（しがらき）、角屋、田中屋**という3軒のお茶屋さんがありました。3軒は、国道246号と世田谷通り、茶沢通りが交差する三差路周辺、現在の三軒茶屋交差点付近に店を構えていました。これら3軒のお茶屋さん周辺を中心に、徐々に街は賑わいを見せ、その地を「三軒茶屋」と呼ぶ人が増え、世田谷区が成立した**1932年に正式な地名**となりました。

三軒茶屋の名前の由来になったお茶屋さんが栄えていたのは、江戸時代中期。当時は現代でいうところの「**旅行ブーム**」のように、**お寺や神社への参詣**が流行っていました。そうした中で多くの人が目指していた地の1つが、神奈川県伊勢原市大山にある「**大山阿夫利神社**」です。

当時のお茶屋さんは、お茶やお菓子だけでなく料理も出しており、お店によっては料亭のような店構えのところもあったとか。3軒のうち、**田中屋は宿泊所も兼ね**ており、敷地面積は**100坪を超**えていたそうです。現代の喫茶店やカフェとはまた違ったお茶屋さんの姿から、当時の賑わいが想像できます。

江戸時代に3軒あったお茶屋さんのうち、**現存するのは1軒のみ**。「田中屋」は、今も当時とほぼ同じ場所で「**田中屋陶苑**」の看板を掲げて、お店を開いています。**お茶屋から陶器屋へ**と業態を変えながらも、三軒茶屋の歴史を現在にまで受け継いでいます。他方、角屋は明治時代に閉店。信楽は、「石橋楼」や「**茶寮イシバシ**」と名を変えながら1945年4月まで洋食屋や宴会場を営んでいました。しかし当時出された建物強制疎開令をきっかけに、長く続いた歴史に幕を降ろしたそうです。

東急電鉄三軒茶屋駅の世田谷通り口を出たところにある、「**三角地帯**」と呼ばれる一角。空襲被害に遭った同地は戦後間もなく**闇市**がつけられ、大きな賑わいを見せました。



三軒茶屋駅

246号線（上は渋谷方面）

（三軒茶屋駅前の三角地帯）



(渋谷駅前) (画像は Yahoo Japan から引用)

支部の活動

- ①幹事会とお花見：2023.03.18（土）10時から、JR 南武線津田山駅隣接の緑ヶ丘公園の噴水前で、満開の桜を愛でながらの開催でした。3月末のWEB総会前の運営方針、行事予定や収支報告書の確認でした。OBの方も参加しました。
- ②次回の講演会：2023.04.22（土）（白木准教授）本学の創立の経緯と建学の精神
（夢キャンパス14時開催+ZOOMのハイブリッド） 思わぬ裏話が聞けそうです。

ご存じですか

【本土急襲とカメラの関係？】

サイレンが鳴る。そのたびに、私たち日本人は**モグラの様に**地下に身を隠しました。そして、はるか上空を飛ぶ**B-29から無数の爆弾**が降り注ぎました。70年以上たった現在まで、国も信頼に足る網羅的な調査をしていません。

一体、日本国土はどれほどの空襲を受けたのでしょうか。**特に注目**したいのが、**空襲・機銃掃射の瞬間を捉えたカラー動画**です。例えば、戦闘機の翼に取付けた特殊なカメラ（ガンカメラ）が記録した映像は、**引金を引く乗務員の実体験**をありのままに伝えるものだったのです。

本土空襲マップを見ると、1944年11月24日は東京（武蔵野・中野区・江戸川区）と神奈川（横須賀）の2都県4カ所で死者65名、1944年11月25日～1945年3月19日は22都府県59カ所、死者累計14万4170名、1945年3月20日～1945年6月16日は30都道府県104カ所、死者累計18万3259名、1945年6月17日～1945年8月15日は45都道府県237カ所、死者累計45万8314名です。ここで初めて北海道が空襲を受けました。日本軍によるハワイ・**真珠湾攻撃は1941年12月8日**でした。広島への**原爆投下は1945年8月6日**、**長崎は8月9日**でした。

ガンカメラが記録した映像は**アメリカ国立公文書館に保管**され、中でも**機密文書「戦闘報告書（Action Report）」**には、どれだけの攻撃を行い、どれだけの損害を与えたかを記録した**約2万ページ**に及ぶものです。（本土急襲全記録（NHKスペシャル）より）

次号もお楽しみに。皆様のご意見・ご感想をお待ちしています。

問合せ・連絡先：川崎支部 幹事長 松本浩一

TEL：090-9363-6082 E-mail：kawa_matsu51@v00.itscom.net